安全運転教育記録

営業所名	所長	運行管理者
本牧営業所	岩間	山本

実施日	2026 年 8 月 25 日 ～ 26 日
実施場所	本牧営業所　事務所

教育指導の内容

○ 国土交通省告示第1366号にもとづく安全運転教育

5、過積載の危険性
（事業用トラックドライバー研修テキスト⑦「過積載の危険性」P35～P54）
1、過積載による事故の要因
2、過積載を規制する法律
3、過積載の防止

○ 睡眠について
・睡眠の必要性
・睡眠と健康上の関連

○指示徹底事項（年間）
1、飲酒運転・酒気帯び運転の根絶
2、4時間以上の連続運転禁止・休憩時間の確保
3、デジタコの正確な操作の徹底

実施対象者

別紙：受講者一覧

株式会社共生物流

保管期間 ： 3年間

2026年度　安全運転教育受講者一覧

営業所名：　本牧営業所

8月度　実施日　25日～26日

	氏名	サイン(自署)	＊実施日	時間 開始 ～ 終了	実施者	点数
1	福島　雄三	福島雄三	25日	8:30 ～ 8:40	山本	90
2	佐々木　啓二	佐々木啓二	26日	6:50 ～ 7:15	山本	100
3	市川　誠	市川誠	25日	6:30 ～ 6:40	山本	100
4	武藤　健司	武藤健司	26日	0:40 ～ 0:55	山本	100
5			日	: ～ :		
6			日	: ～ :		
7			日	: ～ :		
8			日	: ～ :		
9			日	: ～ :		
10			日	: ～ :		
11			日	: ～ :		
12			日	: ～ :		
13			日	: ～ :		
14			日	: ～ :		
15			日	: ～ :		
16			日	: ～ :		
17			日	: ～ :		
18			日	: ～ :		
19			日	: ～ :		
20			日	: ～ :		

1）教育実施時に使用した資料等を添付して保管すること。
2）評価は、理解度テスト70点以上を良とし、70点未満は個別指導を行う

株式会社共生物流
保管期間：3年間

（国土交通省告示1366号）

2026年 8月 25 日

営業所名　本牧営業所

氏名 福島翔之

安全運転教育　理解度テスト（5）

90

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問		解　答
1	『　最大積載量　＝　車両総重量　－　（　車両重量　＋　乗車定員重量　）』である。	○
2	過積載により車両の制動距離は長くなる。また高重心になって、走行中にバランスを崩しやすい。	○
3	過積載の車両は、下り坂ではスピードが出やすく、ブレーキへの負担が大きくなり、ブレーキライニングが過熱してブレーキが効かなくなるフェード現象を引き起こす恐れがある。	○
4	適切な睡眠時間の目安として、５時間が最適である人の割合が一番多い	○ ✓
5	積荷が左右に片寄っても、カーブなどで横転する危険性はない。	×
6	過積載運転をすると、道路交通法に基づき、過積載の程度に応じた違反点数や罰金または反則金が運転者に課せられる。	○
7	トラック事業者だけでなく、荷主側も運転者に過積載を要求したり、過積載になることを知りながら荷物を運転者に引き渡したりすることが禁止されている。	○
8	睡眠をとらないと、体力低下・注意力低下・判断力低下・作業効率の低下など、健康上の問題があらわれ、仕事に悪影響がでる	○
9	過積載運転により、運転手には罰則は科せられない。	×
10	車両通行帯が黄色の線で区画されているところでは、緊急自動車に進路をゆずる時等の場合を除き、たとえ右左折のためであっても、その黄色の線を越えて進路変更をしてはならない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

睡眠を充分にとり事故を起こさないようにする。

（国土交通省告示1366号）

2026年 8月 日

営業所名 本牧営業所

氏名 佐々木啓二

安全運転教育　理解度テスト（5）

100

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。（10点×10問）

設問		解　答
1	『 最大積載量 ＝ 車両総重量 － （ 車両重量 ＋ 乗車定員重量 ）』である。	○
2	過積載により車両の制動距離は長くなる。また高重心になって、走行中にバランスを崩しやすい。	○
3	過積載の車両は、下り坂ではスピードが出やすく、ブレーキへの負担が大きくなり、ブレーキライニングが過熱してブレーキが効かなくなるフェード現象を引き起こす恐れがある。	○
4	適切な睡眠時間の目安として、５時間が最適である人の割合が一番多い	×
5	積荷が左右に片寄っても、カーブなどで横転する危険性はない。	×
6	過積載運転をすると、道路交通法に基づき、過積載の程度に応じた違反点数や罰金または反則金が運転者に課せられる。	○
7	トラック事業者だけでなく、荷主側も運転者に過積載を要求したり、過積載になることを知りながら荷物を運転者に引き渡したりすることが禁止されている。	○
8	睡眠をとらないと、体力低下・注意力低下・判断力低下・作業効率の低下など、健康上の問題があらわれ、仕事に悪影響がでる	○
9	過積載運転により、運転手には罰則は科せられない。	×
10	車両通行帯が黄色の線で区画されているところでは、緊急自動車に進路をゆずる時等の場合を除き、たとえ右左折のためであっても、その黄色の線を越えて進路変更をしてはならない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

睡眠とる

（国土交通省告示1366号）

2026年 8月 25 日

営業所名　本牧営業所

氏名 中川 誠

100

安全運転教育　理解度テスト（5）

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問		解答
1	『 最大積載量 ＝ 車両総重量 － （ 車両重量 ＋ 乗車定員重量 ）』である。	○
2	過積載により車両の制動距離は長くなる。また高重心になって、走行中にバランスを崩しやすい。	○
3	過積載の車両は、下り坂ではスピードが出やすく、ブレーキへの負担が大きくなり、ブレーキライニングが過熱してブレーキが効かなくなるフェード現象を引き起こす恐れがある。	○
4	適切な睡眠時間の目安として、５時間が最適である人の割合が一番多い	×
5	積荷が左右に片寄っても、カーブなどで横転する危険性はない。	×
6	過積載運転をすると、道路交通法に基づき、過積載の程度に応じた違反点数や罰金または反則金が運転者に課せられる。	○
7	トラック事業者だけでなく、荷主側も運転者に過積載を要求したり、過積載になることを知りながら荷物を運転者に引き渡したりすることが禁止されている。	○
8	睡眠をとらないと、体力低下・注意力低下・判断力低下・作業効率の低下など、健康上の問題があらわれ、仕事に悪影響がでる	○
9	過積載運転により、運転手には罰則は科せられない。	×
10	車両通行帯が黄色の線で区画されているところでは、緊急自動車に進路をゆずる時等の場合を除き、たとえ右左折のためであっても、その黄色の線を越えて進路変更をしてはならない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

安全運転に務める。

（国土交通省告示1366号）

2026年 8月 25日

営業所名　本牧営業所

氏名　武雅 健司

100

安全運転教育　理解度テスト（5）

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問		解　答
1	『　最大積載量　＝　車両総重量　－　（　車両重量　＋　乗車定員重量　）』である。	○
2	過積載により車両の制動距離は長くなる。また高重心になって、走行中にバランスを崩しやすい。	○
3	過積載の車両は、下り坂ではスピードが出やすく、ブレーキへの負担が大きくなり、ブレーキライニングが過熱してブレーキが効かなくなるフェード現象を引き起こす恐れがある。	○
4	適切な睡眠時間の目安として、５時間が最適である人の割合が一番多い	×
5	積荷が左右に片寄っても、カーブなどで横転する危険性はない。	×
6	過積載運転をすると、道路交通法に基づき、過積載の程度に応じた違反点数や罰金または反則金が運転者に課せられる。	○
7	トラック事業者だけでなく、荷主側も運転者に過積載を要求したり、過積載になることを知りながら荷物を運転者に引き渡したりすることが禁止されている。	○
8	睡眠をとらないと、体力低下・注意力低下・判断力低下・作業効率の低下など、健康上の問題があらわれ、仕事に悪影響がでる	○
9	過積載運転により、運転手には罰則は科せられない。	×
10	車両通行帯が黄色の線で区画されているところでは、緊急自動車に進路をゆずる時等の場合を除き、たとえ右左折のためであっても、その黄色の線を越えて進路変更をしてはならない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。

睡眠をちゃんととりましょう

（国土交通省告示1366号）

2026年　8月　　日

営業所名　　本牧営業所

氏名

安全運転教育　理解度テスト（5）

次の設問について、正しいと思うものについては○を、誤っていると思うものについては×を、解答欄に記入すること。　（10点×10問）

設問		解　答
1	『　最大積載量　＝　車両総重量　－　（　車両重量　＋　乗車定員重量　）』である。	○
2	過積載により車両の制動距離は長くなる。また高重心になって、走行中にバランスを崩しやすい。	○
3	過積載の車両は、下り坂ではスピードが出やすく、ブレーキへの負担が大きくなり、ブレーキライニングが過熱してブレーキが効かなくなるフェード現象を引き起こす恐れがある。	○
4	適切な睡眠時間の目安として、５時間が最適である人の割合が一番多い	×
5	積荷が左右に片寄っても、カーブなどで横転する危険性はない。	×
6	過積載運転をすると、道路交通法に基づき、過積載の程度に応じた違反点数や罰金または反則金が運転者に課せられる。	○
7	トラック事業者だけでなく、荷主側も運転者に過積載を要求したり、過積載になることを知りながら荷物を運転者に引き渡したりすることが禁止されている。	○
8	睡眠をとらないと、体力低下・注意力低下・判断力低下・作業効率の低下など、健康上の問題があらわれ、仕事に悪影響がでる	○
9	過積載運転により、運転手には罰則が科せられる。過積載5割未満、5割以上10割未満、10割以上の程度に応じて罰則の内容が異なる。	×
10	車両通行帯が黄色の線で区画されているところでは、緊急自動車に進路をゆずる時等の場合を除き、たとえ右左折のためであっても、その黄色の線を越えて進路変更をしてはならない。	○

感　想　文

教育を受けて「安全運転」について感じたこと、これから心掛けることを記入してください。